

注入ピン(PACKER) 施工手順



◆ステップ.1 調査

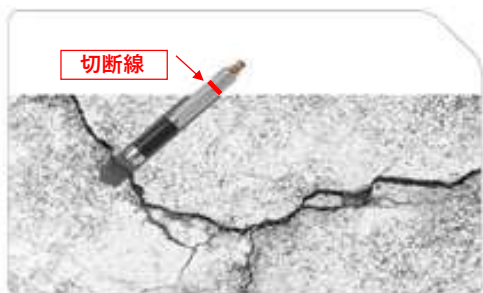
コンクリートの厚さ、ひび割れの幅、コンクリートの深さを調査し施工手順を決定します。



◆ステップ.2 穴あけ

コンクリート厚さが10cm未満の場合、亀裂に対し垂直に穴を開けます。コンクリート厚さが10～50cmの場合、亀裂からコンクリートの厚さの約5分の1の距離で45°の角度で亀裂を貫通します。

コンクリート厚さが50cmを超える場合、亀裂から20～30cm離れた所に45°の角度で亀裂を貫通し、ジグザグの形で1mあたり5つの穴を開けます。（あくまでも目安です）



◆ステップ.3 注入ピン挿入

穴の中を清掃し、注入ピンの切断線位置をコンクリートの表面に合わせて注入ピンを挿入します。

Tボックスを使用して注入ピンを回しながら挿入しますが、きつく回し過ぎるとピンの切断線で破断する恐れがあります。



◆ステップ.4 注入

インジェクションポンプを使用してポリウレタンを注入します。

ポリウレタンが亀裂を通して流れるまで、圧力を徐々に上げます。

亀裂から最初の水が流れ出た後、発泡ポリウレタンが出て、最後に非発泡ポリウレタンが亀裂から出てきたら、次の注入ピンに注入します。



◆ステップ.5 注入ピン取外し

注入した位置に水滴など濡れた部分が残っている場合は、ポリウレタンを再注入してください。

発泡ポリウレタンが十分に注入され硬化したことを確認後、注入ピンをハンマーで叩くと切断線の位置で破断されるので取り除きます。



◆ステップ.6 仕上げ

コンクリート表面に浮き出て残った発泡ポリウレタンをコテで取り除き、柔軟なシーリング剤で塗布します。

注入ピンがコンクリート表面から飛び出している場合、サンダーで削り落とすことも可能です。